

IoT時代のBCPセミナー

- ◆日時：平成29年8月28日(月) 14時00分～16時00分
- ◆場所：熊本商工会議所 6階大会議室(住所：熊本市中央区横綱屋町10)
- ◆主催：熊本商工会議所
(一社)熊本県情報サービス産業協会(ITユーザー懇話会)
- ◆共催：くまもと機械電子情報連携推進機構
情報サービス産業協会

【講演①】「IoT時代の地域BCPソリューションと熊本」14:00～15:30

講師 一般社団法人防災減災技術開発機構 代表理事 勝田芳史 様

多くの自然災害の中でも大地震は突然にやってくる。建物倒壊、地割れ、土砂崩れ、津波、大火災と人命に与える被害、経済損害も大きく、またその影響範囲は地域的に広範囲であることが多い。これほど科学が発達し、地震についても多くのことがわかって来ているにも関わらず、地震予知・予測は難しい。

東北大地震に続いて熊本地震においても、またもや地震予知・予測はできなかった。せめて、地域として事前に何らかの警告が得られていれば、もう少し被害も押さえられたかも知れない。

そんな思いで、主としてICT系の理事メンバーが、「緊急地震速報」を国立研究開発法人防災科学研究所で開発された藤縄幸雄先生を中心として、「地震予知・予測」をテーマに昨年未だに一般社団法人を設立。

藤縄先生の研究成果のひとつが「ボアホールを用いた微小クラック計測システム」であり、これを単にネットワーク化するだけでなく、もっと総合的に前兆現象を丁寧に拾い上げると同時に分析評価し、大地震の兆候である地盤の中の微小変化を少しでも早く拾い上げて行きたい。ICT技術の進歩した今だからこそ、「IoT時代の地域BCPソリューション」として、また、防災減災の拠点として熊本からもその大きな流れを作り出せれば意義深い。

<講師略歴>

名古屋大学理学部数学科卒業後、(株)東洋情報システムに約27年間勤務。コンピュータ分野では、主として、構造計算・振動解析、人工知能(AI)、インターネットビジネスなど同社の最先端技術分野を担当。その後子会社のベンチャー社長退任後、独立してIT関係の事業開発、市場開拓のコンサルタント、県立大学非常勤講師、大手通信会社の事業支援。現在、関東経済産業局認可デジタルビジネス協同組合理事としても中小企業のIT化にも取り組んでおられます。



【講演②】「防災産業都市構想フォーラムについて」15:30～16:00

講師 熊本県産業技術センター 所長 今村 徹 様

私達は、熊本地震で大きなダメージを受けました。復興には、まだまだ時間がかかりますが、創造的復興を実現するには、このピンチをチャンスに変える活動が必要です。そこで、今回防災ビジネス創出を目指した「防災産業都市構想フォーラム」を立ち上げることとなりました。熊本地震で顕在化した課題をニーズと捉え、ビジネス創出の材料にすることを狙っています。民間の各団体の活動に防災という共通の横軸を通すと共に、産業技術センターを含む県や国研である防災科学技術研究所、さらには県内大学と連携を図り、ニッチトップ技術としての防災・減災技術開発を狙った産学官連携活動を推進します。